

記載例

様式第1号（第8条関係）

八幡市長 様

提出日を記載してください。

令和〇年〇月〇日

申請者 住 所 八幡市〇〇町〇〇 △△番
団 体 名 〇〇実行委員会
代 表 者 八幡 太郎
電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

印

令和〇年度八幡市観光振興事業補助金交付申請書

標記補助金の交付を受けたいので、八幡市観光振興事業補助金交付要綱第8条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

会社実印（法人格を持たない民間団体の場合は、代表者の個人印）をお願いします。

本補助金として採択された年数のみをカウントし、他の補助金として採択された年数はカウントしません。

イベントの名称	八幡〇〇フェスティバル
補助区分 ※どちらかにチェック	☒ 観光イベント自立化支援事業（添付書類①～⑫） ☐ イベント開催支援事業（添付書類①～⑨）
補助対象期間 ※いずれかにチェック	☒ 交付申請1年目 ☐ 交付申請2年目 ☐ 交付申請3年目 ☐ 交付申請3年目以降（_____年目）
交付申請額 ※1,000円未満切捨て記入 ※税抜金額又は消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額を減額した額を記入	500,000円
添付書類	① 事業計画書（様式第2号） ② 収支予算書（様式第3号） ③ イベント運営計画書（様式第4号） ④ 団体等の規約、定款、会則又はこれらに準ずる書類（任意様式） ⑤ 誓約書（別紙1） ⑥ 見積書の写し又は金額を証明する書類 ⑦ 団体等の市税の滞納がないことについての証明書※1 ⑧ 代表者が八幡市に在住していることがわかる書類又は団体構成員の3分の1以上が八幡市民だとわかる団体名簿 ⑨ その他参考となる資料
観光イベント自立化支援事業追加提出書類	⑩ 市外からの誘客計画書（様式第5号） ⑪ 自立計画書（様式第6号） ⑫ 自主財源計画書（別紙3）

収支予算書（様式第3号）と相違のないようにしてください。

⑦で八幡市在住の団体等代表者が市税等の滞納がないことについての証明書（または市税等情報確認承諾書）を提出いただいている場合は⑧の提出は必要ありません。

※1 法人格を持たない民間団体の場合は、代表者の市税の滞納がないことについての証明書を提出してください。八幡市内の企業や八幡市在住の方は、市税の滞納がないことについての証明書の代わりに市税等情報確認承諾書（別紙2）の提出が可能です。

八幡市外在住の方は、お住まいの市で完納証明書等を発行し、提出してください。

令和〇年度八幡市観光振興事業
事業計画書

イベントの名称	八幡〇〇フェスティバル		交付申請書（様式第1号）と相違のないようにしてください。
主催団体名	〇〇実行委員会		
イベントの日時	〇月〇日〇時～〇時		
イベントの会場	〇〇広場（八幡市〇〇町〇〇 △△番地）		住所まで記載してください。
実施期間 （予定）	着手	令和〇年〇月〇日（ ）	補助の対象となる取り組みが始まる日と事業に関する支払いが全て完了する予定日を記入してください。
	完了	令和〇年〇月〇日（ ）	
イベントの目的	市の特産品である〇〇や観光資源である〇〇を活かし、新たな観光コンテンツを創出することで、観光誘客の促進を図る。 また、地元事業者のマルシェ出店や地元団体のステージイベントを通じて、地元住民と観光客の交流の場を創出するとともに、八幡の魅力を発信する。		
	補助金の目的と一致するように記載してください。 （例：「観光誘客の促進」「にぎわいの創出」「交流人口の拡大」）		
イベントの概要	八幡市の特産品である〇〇を使用したものづくりワークショップ、市内事業者・団体による特産品を活用した飲食店ブース等のマルシェの設置、地元団体等によるステージイベント等の複合型イベントとして実施。（別紙資料あり） ① ものづくりワークショップ 地元事業者が講師となり〇〇を使用して、〇〇を作成。 講師：〇〇 ② マルシェ 市内事業者・団体〇組出店。（特産品である〇〇等の販売） 市によるヤワタカラ（八幡特産品）の代行販売。 ③ ステージイベント 地元団体によるステージパフォーマンス。		

記載内容を補足する資料がある場合は、別紙資料を添付する旨を記載した上で、申請書とともに提出してください。
具体的な内容を記載ください。

実施により期待される効果	市内外からの観光客誘致による交流人口の拡大や、マルシェやワークショップを通して行う特産品・観光資源のPRによる八幡市の魅力発信、認知度向上が期待できる。 また、市内事業者にもマルシェ出店の場を設けることで、事業者の販路拡大・売上向上等も期待できる。 このイベントにより八幡市の観光にどのような効果があるかを具体的に記載ください。	
誘客・参集目標	延べ 1,000 人（うち市外からの誘客目標：延べ 400 人）	
補助金・自己負担金を除く収入目標額	380,000 円	収支予算書（様式第3号）の補助金・自己負担金を除く収入合計と相違のないようにしてください。
補助対象事業費所要額	1,000,000 円	
担当者連絡先	住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇 八幡市〇〇町〇〇 △△番地	
	氏名 八幡 花子	
	電話番号：〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
	FAX 番号：	
	E-mail：	

※様式に記載しきれない場合は、適宜用紙を追加して作成すること。

FAX 番号、メールアドレスがない場合は記入不要です。データの送付や各種確認を円滑に行えますのでなるべく記入をお願いします。

収支予算書

記載例

イベントの名称 八幡〇〇フェスティバル

収入の部					(単位：円)
項目	前年度決算額	本年度予算額	比較増減	内容説明及び積算内訳	
前年度繰越金		0	0		
事業収入		100,000	100,000	物販収入（50,000円） 出店料（5,000円×10店舗）	
寄附金		100,000	100,000	地元団体からの寄付金 （10,000円×10口）	
協賛金		100,000	100,000	地元企業協賛金 100,000円×1社	
参加費		20,000	20,000	ワークショップ参加料 500円×40人	
八幡市補助金		500,000	500,000	市からの補助金交付額	
雑入		0	0		
その他収入		60,000	60,000	クラウドファンディング収入	
自己負担金		254,000	254,000	実行委員会負担金	
合計	0	1,134,000	1,134,000		

収入合計	1,134,000
補助金・自己負担金を除く収入合計	380,000
支出合計	1,134,000
（補助対象経費）	1,050,000
繰越金	0

交付要綱第7条（補助対象経費）を踏まえ、補助対象と補助対象外を整理し記載ください。
行数が足りない場合は、追加してください。複数枚になっても問題ございません。

金額は全て税込みの金額を記載してください。
課税事業者の場合は全て税抜きを記載してください。

支出の部		課税事業者の場合は全て税抜きの金額を記載してください。				(単位：円)	
項目	前年度決算額		本年度予算額		比較増減	内容説明及び積算内訳	
	補助対象	補助対象外	補助対象	補助対象外			
賃金	0	0	100,000	0	100,000		
運営スタッフ賃金 (団体構成員)					0		
運営スタッフ賃金 (団体構成員以外)			100,000		100,000	当日アルバイト (10,000円×10人)	
報償費	0	0	80,000	60,000	140,000		
講師謝礼			30,000		30,000	講演会講師への謝礼金	
芸能団体謝礼					0		
出演者・審査委員謝礼			50,000		50,000	出演者謝礼	
記念品・景品・賞品				30,000	30,000	参加者ノベルティ (100円×300人)	
神事式謝礼				30,000	30,000	初穂料	
					0	記念品・景品・賞品、神事式等宗教行事に関わるものは補助対象外です。	
需用費	0	0	147,000	24,000	171,000		
消耗品費			20,000		20,000	ボールペン、コピー用紙、消毒液等	
印刷製本費			100,000		100,000	ポスター・チラシ印刷費 (〇枚、60,000円)	
光熱水費			15,000		15,000	イベント会場の電気代 (10,000円) 水道代 (5,000円)	
食糧費			12,000		12,000	会議用お茶 (150円×10人×3回)	
食糧費				24,000	24,000	イベント当日スタッフお茶 (150円×30人) イベント当日スタッフお弁当 (800円×30人)	
役務費			138,000	0	138,000		
通信運搬費			8,000		8,000	郵送費 (100円×80件)	
手数料			5,000		5,000	銀行振込手数料 (500円×10件)	
広告料			100,000		100,000	新聞折込 (50,000円)、SNS広告 (50,000円)	
保険料			25,000		25,000	イベント参加者の保険料 (500円×50人)	
委託料	0	0	360,000	0	360,000		
			40,000		40,000	チラシポスティング (4,000部×10円)	
			60,000		60,000	チラシデザイン	
			100,000		100,000	物販用グッズの作成委託	
			160,000		160,000	会場設営・撤去作業委託	
使用料及び賃借料	0	0	90,000	0	90,000		
会場使用料			60,000		60,000	イベント会場使用料 (〇〇広場)	
車両・機械借上料			20,000		20,000	机椅子レンタル	
			10,000		10,000	車両レンタル	
					0		
原材料費					0		
		0	85,000	0	85,000		
			50,000		50,000	物販用グッズの材料費	
			35,000		35,000	体験ブース用材料費	
備品購入費		0	50,000	0	50,000		
			50,000		50,000	テント1張	
					0		
その他	0	0	0	0	0		
					0		
					0		
計	0	0	1,050,000	84,000	1,134,000		
合計		0		1,134,000	1,134,000		

注）1 積算内訳には、見積り単価、数量、人数等を具体的に記載して下さい。
2 消費税の課税事業者の場合、消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額を減額して申請し、積算内訳の欄に次の算式を記入して下さい。
補助金所要額－消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額＝補助金額
※申請時点で仕入控除税額が明らかでない場合は、「課税支出に係る消費税額及び地方消費税相当額」を「消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額」とみなして申請して下さい。
3 補助金の額は1,000円未満切り捨てで記入して下さい。
4 様式に記載しきれない場合は、適宜用紙を追加して作成して下さい。

イベント運営計画書

イベント当日の主な業務内容を記載してください。

1 運営スタッフ概要

所属団体名	人数	備考
〇〇実行委員会	10名	受付、案内
市民ボランティア	5名	会場整理、清掃
〇〇大学	10名	ステージイベント補助、マルシェ補助等
計3団体	25名	

※備考欄には、主な業務内容を記載してください。

2 運営スケジュール

区分	期日	時間	内容
イベント準備	〇月〇日	〇時～〇時	実行委員会開催（イベント計画）
	〇月〇日		出店者募集
	〇月〇日		チラシ・ポスター発注
	〇月〇日		イベント開催告知（SNS、HP）
	〇月〇日		チラシポスティング
	〇月〇日	〇時～〇時	前日設営 （ステージ設営、のぼり設置）
イベント当日	〇月〇日	〇時～〇時	イベント当日設営 （テント設営、機材搬入）
		〇時～〇時	受付開始、オープニングセレモニー、 マルシェ営業
		〇時、〇時、 〇時	ものづくりワークショップ（計3回）
イベント撤去	〇月〇日	〇時～〇時	イベント当日撤去 （テント、機材、のぼり、ごみ回収）
	〇月〇日	〇時～〇時	撤去（ステージ）

※様式に記載しきれない場合は、適宜用紙を追加して作成すること。

なるべく詳細に記載をお願いします。

市外からの誘客計画書

イベントの名称	八幡〇〇フェスティバル		交付申請書（様式第1号）と相違のないようにしてください。
イベントの日時	令和〇年〇月〇日 〇〇時～〇〇時		
誘客・参集目標	延べ 1,000 人（うち市外からの誘客：延べ 400 人）		
過去来場者数実績 ※過去開催実績がある場合のみ	過去実績がある場合のみ記載をお願いします。		
ターゲット層	年齢層	20代～40代のファミリー層、シニア観光客	
	居住地域	京都市、枚方市等の近隣市町村からの来訪者	
具体的な手段	・京阪沿線内でのポスター掲示 ・SNS 広告 ・チラシポスティング ・市、観光協会による SNS 等での情報発信 ・旅行会社との連携		ターゲット層はできる限り明確に設定してください。
測定方法	なるべく複数の方法を組み合わせて実施し、効果が出るように工夫してください。		
	・アンケート調査（住所、年齢、来訪者目的） ・会場内カウンターによる入場者数計測 ・SNS 投稿数の集計		
	実現可能な方法かつ正確に測定が可能な方法で実施してください。		

記載例

様式第6号（第8条関係）

自立計画書

イ ベ ン ト 名 称	八幡〇〇フェスティバル
主 催 団 体	〇〇実行委員会
開 催 年 数	1 年目
開 催 目 的	八幡の観光資源（特産品）である「〇〇」を活用し、新たな観光コンテンツを創出することで、八幡の観光シーズンである初詣と桜の時期以外での観光誘客の促進を図る。 また、地元飲食店のフード出店を通じて、八幡の魅力を発信する。
補助金・自己負担金を除く収入目標額	380,000 円
自 主 財 源 計 画 ※補助金交付期間の3年以降の内容についても記載をお願いします。金額詳細は別紙3に記載をお願いします。	市から補助金交付がある開始1～3年目は、オリジナルグッズ（〇〇や〇〇）の作成・販売、地元特産品の販売、ものづくりワークショップの開催等で収益を上げつつ、地元企業のスポンサー探しやクラウドファンディングを並行して行い自主財源の確保を目指す。 市からの補助金交付が終了する4年目以降もスポンサー企業、マルシェ出店団体、オリジナルグッズの拡大を図り4年目以降のイベント自立化を目指す。詳細は別表に記載。 自立運営のための財源確保の方法や、自立運営を目指す時期等をなるべく詳細に記入してください。 金額を含む詳細は別表に記載してください。
経 費 削 減 策	・運営スタッフのボランティア活用。（主に清掃や案内業務等） ・チラシ等の印刷物を縮小し、SNS・HPを使用したPRを積極的に行う。 ・機材や机等の備品は購入せずにレンタルし、購入費と備品の保管費用の削減を図る。 ・のぼりや横断幕等、翌年以降使いまわせるものを作成する。
自 立 の 目 標 年 数	市からの補助金交付が終了となる4年目以降で自立を図る。

交付申請書（様式第1号）と相違のないようにしてください。

収支予算書（様式第3号）の補助金・自己負担金を除く収入合計と相違のないようにしてください。

※様式に記載しきれない場合は、適宜用紙を追加して作成すること。

自主財源計画書

記載例

(単位:円)

補助1年目の欄は収支予算書と合うように記載してください。
自主財源計画は2年目以降で修正していただいても問題ございません。

下の欄には内訳を記入して下さい。

年度	市補助金	前年度繰越金	物販収益	寄附金	協賛金	参加費	出店料収入	その他収入	補助金・自己負担金を除く収入合計	自己負担金	合計
令和○年 (補助1年目)	500,000	0	50,000 (内訳)	100,000 10,000円×10口	100,000 100,000円×1社	20,000 500円×40人	50,000 5,000円×10店	60,000 クラウドファンディング 3,000円×20口	380,000	254,000	#####
令和○年 (補助2年目)	500,000	0	70,000	120,000 10,000円×12口	200,000 100,000円×2社	25,000 500円×50人	60,000 5,000円×12店	75,000 クラウドファンディング 3,000円×25口	550,000	84,000	#####
令和○年 (補助3年目)	500,000	0	100,000	140,000 10,000円×14口	300,000 100,000円×3社	30,000 500円×60人	70,000 5,000円×14店	90,000 クラウドファンディング 3,000円×30口	730,000	0	#####
令和○年 (4年目) ※補助終了	0	96,000	150,000	160,000 10,000円×16口	400,000 100,000円×4社	56,000 700円×80人	80,000 5,000円×16店	105,000 クラウドファンディング 3,000円×35口	951,000	87,000	#####
令和○年 (5年目) ※補助終了	0	0	200,000	180,000 10,000円×18口	500,000 100,000円×5社	70,000 700円×100人	90,000 5,000円×18店	120,000 クラウドファンディング 3,000円×40口	#####	0	#####

自主財源計画概要

開始1～3年目は市から補助金の交付を受けつつ、オリジナルグッズ(〇〇や〇〇)の作成・販売、地元特産品の販売、ものづくりワークショップの開催等で収益を上げつつ、地元企業のスポンサー探しやクラウドファンディングを並行して行い自主財源の確保を目指す。
市からの補助金交付が終了する4年目以降もスポンサー企業、マルシェ出店団体、オリジナルグッズの拡大を図り4年目以降のイベント自立化を目指す。

自立運営のための財源確保の方法や、自立運営を目指す時期等なるべく詳細に記入してください。